

見守り活動には
「報・連・相」が大切です



～地域のなかでの『ほうれんそう』～

活動中の気づきや危険な箇所は
メンバーに共有しましょう。



活動をノートに記録していくのもいいかもしれません。

防犯活動のなかで、気付いたことや、気になることについて
メンバーに共有しましょう。

特に危険な箇所や、心配な部分は
積極的に『ほうれんそう』するように心がけておきましょう。

話題にしていくことで、他の人の興味関心が高まることになります。
共感する人が増えることで、大きく対応に踏み出せることもあります。

また、日頃の『ほうれんそう』について、
メモなど、ノートに記録していくのもいいかもしれませんね。



活動中の気づきや危険な箇所は
メンバーに共有しましょう。



活動をノートに記録していくのもいいかもしれません。

～地域のなかでの『ほうれんそう』～



市町村や警察が配信する地域の情報を新聞やネットでこまめにチェックして地域の安全に役立てましょう。

市町村や警察署が発信している防犯に関する情報や地域の中での出来事について、こまめにチェックしましょう。

そして、その気付きについて、自分ひとりのものだけに終わらせず、メンバーに『ほうれんそう』することで、話題が膨らんでいき、他の人からの視線や視点を得ることもできるでしょう。多くの対応策や、新たな課題も見つかるかもしれません。

1人が得た情報をみんなで共有することで情報の価値や意味合いが広がって、深まっていきます。





市町村や警察が配信する地域の情報を
新聞やネットでこまめにチェックして
地域の安全に役立てましょう。

～地域のなかでの『ほうれんそう』～

学校や市町村との連絡体制を事前に
整えておくことも必要です。



「誰に、どの方法で」情報を伝えるのか具体的に
決めておくことでスムーズな連携が図れます。

事柄によっては、地域の中だけでは解決できないこともあります。
自分達だけで解決しようとせずに、
市町村や警察署、場合によっては学校や地域の中での施設など
関係先との連絡体制を事前に構築しておきましょう。

誰に、どんな方法で、どれぐらいの段階で情報を共有するのか
具体的に決めておくとも良いかもしれませんね。

例えば、定期的な集まりの場があるなら、そのときに共有するとか、
事案の緊急性や重大性によっては、電話連絡やメールなどで
情報を共有するなど、その方法を決めておくことで、
遠慮なく、かつ迅速に共有することができます。

また、何でもかんでも、行政機関などに通報して対応を依頼するのではなく、
「ほうれんそう」の関係性を築き、
それぞれができることを考えていけると良いですね。

地域の中での『ほうれんそう』。大切にしていきましょう。

おしまい、おしまい。



作成：認定NPO法人好きっちゃ北九州
一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団
2023年度「住まいとコミュニティづくり活動助成」
絵：北九州市立大学防犯・防災プロジェクトMATE's

学校や市町村との連絡体制を事前に
整えておくことも必要です。



「誰に、どの方法で」 情報を伝えるのか具体的に
決めておくことでスムーズな連携が図れます。

～地域のなかでの『ほうれんそう』～



地域のなかでの見守り活動には、『ほうれんそう』が大切です。

『ほうれんそう』をご存知でしょうか？

報告の「ほう」

連絡の「れん」

相談の「そう」の、それぞれの頭文字を並べているものです。

報告は、既に起きていることを共有する、過去の話題。

連絡は、いま起きていることを共有する、現在の話題。

相談は、これからのことを話し合って共有する、未来の話題です。

地域の中での些細なことを、

『ほうれんそう』し合うことが重要です。

防犯だけでなく、福祉のまちづくりや、防災にも役立ってでしょう。



作成：認定NPO法人好きっちゃ北九州

一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

2023年度「住まいとコミュニティづくり活動助成」

絵：北九州市立大学防犯・防災プロジェクトMATE's